活動日	活動名称	活動概要
2019年 4月14日	多摩川博士になろう! PART156 多摩川で春の植物を探そう!	多摩川の土手や河原で、この時期に見られる野草を探し、野草の採取のルールや注意、それぞれの野草の名前や特徴を学びながら採取する。採った野草を集め、河原でハーブティーやおひたし、草だんごなどで、それぞれの香りや味わいを楽しむ。※試食、試飲は、博物館本館体験学習室で実施講師:榎本 正邦(NPO多摩川センター研究員・えのきん事務所)
5月19日		多摩川中流部の川底の地形や地質とともに、水の中にすむ生きものについて学ぶ。全国の川で実施されている水生生物による水質調べ(水温や川の流れとともに、水生生物を採取し、出現種によって水質階級を判定する調査方法)を体験学習する。 講師:金濱良明(NPO多摩川センター研究員)
6月16日	多摩川博士になろう! PART158 多摩川の初夏の生きものたち	新緑の季節の郷土の森博物館周辺や多摩川の河川敷を歩きながら、繁殖期を迎える夏鳥を中心とした鳥類など生きものを観察し、種類やさえずりといった生態、特徴などをあわせて学習する。大丸取水堰付近で遡上するアユの稚魚なども観察し、生態を学習する。 講師: 榎本 正邦(NPO多摩川センター研究員・えのきん事務所)
8月4日		水遊びのシーズン、郷土の森博物館の近くの多摩川で、川や海などでの活動で注意すること(ケガなどを防ぐ服装や熱射病・日射病対策など)を学びながら、シュノーケルやマスクなどを使った水中観察体験、ライフジャケットを着用しての川流れ体験などを行う。 講師:山道 省三(NPO多摩川センター)
8月18日	多摩川博士になろう! PART160 多摩川・川のなかの生きものた ち(ガサガサ体験)	府中市郷土の森博物館近くの多摩川で手網(たも)を使って魚などの生きものを探すガサガサ体験を子どもを中心に行う。川の流れや川底の様子、生きものの生態についてもあわせて学習する。 講師:榎本 正邦(NPO多摩川センター研究員・えのきん事務所)
9月22日	多摩川博士になろう! PART161 多摩川むしむしウォッチング(府中市郷土の森博物館の自然観察会「多摩川むしむしウォッチング」と共同開催)	博物館付近の多摩川の土手や河原などで、この時期によく見られるバッタや鳴く 虫などの昆虫を探し、捕虫体験とともに観察、学習する。種類による色や形、棲ん でいる場所、食べているもの、繁殖などについて、また、羽や目や鼻や耳といった 身体の構造や特徴も観察し、学習する。 講師:立川周二(NPO多摩川センター研究員・農学博士/昆虫生態学)
10月20日	多摩川博士になろう!PART162 見て学ぼう!府中付近の多摩 川〜ふだんの川と洪水のときの 川〜	直前に起きた台風19号で、全国各地で川の氾濫やなどが起こり、大きな災害が発生し、府中付近の多摩川でも、洪水が起きて川の様子が大きく変わった。今回のような水害に対する日頃からの備えや、いざというときの防災情報の集め方、命を守るための行動について、考え、学ぶ。近くの多摩川て、川の流れや土砂の堆積など、洪水後の川の様子や、洪水から人やまちを守るためのさまざまな「しかけ」などを現場で実際に見て学習する。 講師: 蘭 勝司(国土交通省京浜河川事務所 河川環境課)
11月17日	多摩川博士になろう! PART163 多摩川がつくった"まち"「府中」 を歩く〜秋深まる武蔵野の森と 浅間山をめぐる〜	地域の川の関係をたどる「多摩川がつくった"まち"府中を歩く」、テーマを「秋の武蔵野の森と浅間山をめぐる」をテーマに、大昔に多摩川がけずり残した台地のなごりともいわれ、武蔵野の面影を残す浅間山、市内でもまとまった緑や巨木なども見られる、野川公園、武蔵野公園、多磨霊園などを歩く。講師:吉田誠(NPO法人多摩川センター研究員・植物研究家) 山道 省三(NPO法人多摩川センター)
12月22日	多摩川博士になろう! PART164 手づくりのお正月飾りにチャレン ジ!	稲穂のついたワラや竹をベースに河原の植物(ノイバラ、など自然素材などを使ったオリジナルのお正月飾りを作る。縄の綯い方も体験しながら伝統的な「和」の形に自分だけのアイディアを加えて表現する。 講師:宮田温子(NPO法人多摩川センター研究員)
2020年 1月19日		この季節に川や水辺で見られるカモ類などの冬鳥などの鳥の姿を、郷土の森博物館の周辺や多摩川で観察、学習する。それぞれの種の生態や鳴き声、見分け方、双眼鏡の使い方などもあわせて学習する。 講師:大塚 豊(NPO法人多摩川センター研究員)
2月16日		昨秋10月の台風19号により、多摩川は近年にない大洪水で、府中の多摩川の景観も大きく変化した。洪水がどんな跡を残したか、景観や水環境がどのように変化したのかを学習する。※雨天により、室内での映像等による学習講師: 蘭 勝司(国土交通省京浜河川事務所 河川環境課), 山道省三(NPO多摩川センター)
3月15日		昨年10月の洪水では、土や石とともに多くの河原の植物が流された。洪水後の多摩川の河原に最初に戻ってくるのはどんな植物で、どんな姿が見られるか、洪水後の多摩川の河原に出現した石河原、その石がどこからやってきたのかかなどを地形や植生、風景の変化もあわせて観察、学習する。 講師: 吉田 誠(NPO多摩川センター研究員・植物研究家)